

## 2012 年度 活動成果報告

(2013 年 3 月 29 日作成)

プロジェクト名	郊外型都市賦活更新プロジェクト研究	リーダー：吉川 徹
プロジェクト 全体計画	<p>本年度は、(1)多摩ニュータウンなど計画市街地における少子化、高齢化を踏まえた持続居住、地域公共空間再構成に向けた研究、(2)立川など既成中心市街地の地域資源に着目した地域活性化研究、(3)荒川区など既成高密度住宅市街地の在宅高齢者の外出行動支援に向けた調査研究、を推進した。</p>	
メンバー構成	<p>○吉川 徹 [教授/都市計画学]          上野 淳 [教授/建築計画学]          若林 芳樹 [教授/都市地理学]          繁田 雅弘 [教授/老年医学]          饗庭 伸 [准教授/都市計画]          橋本 美芽 [准教授/建築・医療・福祉工学]          山本 薫子 [准教授/都市社会学]          坪本 裕之 [助教/都市地理学]          松本 真澄 [助教/住居学]          石橋 裕 [助教/作業療法学]          讃岐 亮 [特任助教/都市計画学]</p>	
2012 年度の成果	<p><b>(1) 計画市街地における持続居住、地域公共空間再構成に向けた研究</b>          上野 G：多摩 N T の団地居住者の居住実態と住環境評価、高齢者支援スペースと利用者の地域生活様態、など多角的な観点から多摩ニュータウン再生・活性化シリーズ研究を推進した。          吉川 G：地域公共空間再構成に向けて、住宅の機能を代替する地域施設の立地について分析を精緻化した。地域施設へのアクセシビリティ評価に関する研究を進めた。          プロジェクト研究室：郊外住宅地における高層住宅の生活利便性、大都市周縁部の商業施設形態、住宅地における音においの認知、多摩ニュータウンにおける入浴施設利用実態、という 4 つの研究を進めた。</p> <p><b>(2) 既成中心市街地の地域資源に着目した地域活性化研究</b>          饗庭 G：都市環境科学研究科「都市環境科学特別講義第 2」「都市環境科学特別講義第 3」で多摩地域を対象にした課題解決型の調査を実施し、解決策の提案を作成した。また、多摩地域での空き家活用の取り組みを進め、子ども達の参加する社会的な空き家活用のプログラムを開発した。</p> <p><b>(3) 既成高密度住宅市街地の在宅高齢者の外出行動支援に向けた調査研究</b>          橋本 G：荒川区と協力して高齢者を対象とした、外出行動とその特性、外出頻度維持者と外出頻度低下者の特性比較に関する大規模アンケート調査を行った。その結果から、高齢者の外出ニーズ、都市整備への要望を抽出し、今後の都市整備の基礎資料としてまとめた。</p>	

## 研究成果リスト

論文・口頭発表	<p>[学術論文]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 移動距離と手段の変化に着目した郊外市街地におけるスーパーマーケット撤退の影響分析：奥田周平，讃岐亮，鈴木達也，吉川徹：日本都市計画学会都市計画報告集：No.11,2012.05：pp.44-49</li> <li>2) 多摩ニュータウン高齢者支援スペース・福祉亭利用者の地域生活様態とその地域社会における意義－多摩ニュータウン高齢者支援スペースと利用者の地域生活様態に関する研究（その2）－：余錦芳，松本真澄，上野淳：日本建築学会計画系論文集：Vol.77,No679, pp2025-2034.Sep,2012</li> <li>3) 非常時のアクセシビリティとキャパシティに着目した施設利用可能性分析--青森市のガソリンスタンドを対象として：讃岐亮，鈴木達也，吉川徹：日本都市計画学会都市計画論文集，No.47-3, pp.859-864, 2012.10</li> <li>4) Accessibility and Availability Analysis of Temporary Fueling Sites in Rikuzentakata-City：Ryo SANUKI, Tatsuya SUZUKI, Tohru YOSHIKAWA：ISAI2012, 2012.10</li> <li>5) ガソリンスタンドの停止と復旧に伴うアクセシビリティ変化の分析--東日本大震災被災地から岩手県と宮城県を分析対象にして：讃岐亮，鈴木達也，吉川徹：日本建築学会計画系論文集，第78巻第683号, pp.149-157, 2013.1</li> <li>6) まちづくりの実現手段としての空き家活用：饗庭伸：都市問題 2013年4月号：公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所，2013.04.：(近刊予定)</li> </ol> <p>[口頭発表]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 多摩ニュータウン諏訪・永山地区における高齢者の屋外活動に関する調査：久家あかね・余錦芳・松本真澄・上野淳：日本建築学会大会学術講演梗概集，F-1分冊，pp.227-228, 2012.9</li> <li>2) 多摩ニュータウンにおける自宅外入浴施設について：三上奈穂・讃岐亮・松本真澄・市川憲良・上野淳・吉川徹：日本建築学会大会学術講演梗概集，F-1分冊，pp.211-212, 2012.9</li> <li>3) 住宅の機能を代替する施設立地と生活行動による人口分布の分析：鈴木達也・讃岐亮・吉川徹：日本建築学会大会学術講演梗概集，F-1分冊，pp.213-214, 2012.9</li> <li>4) メッシュデータを用いた土地利用隣接関係分析への二次元格子ランダムウォークのメッシュ集計の適用：吉川徹：日本建築学会大会学術講演梗概集 F-1分冊：pp.1009-1010：2012年9月</li> <li>5) 水平方向の徒歩移動抵抗に立脚した中心市街地の施設立地分析--施設訪問行動の目的性に着目して：繁野北斗，吉川徹，讃岐亮：日本建築学会大会学術講演梗概集，F-1分冊，pp.1013-1014, 2012.9</li> <li>6) 道路の利用度に着目した商業店舗立地分析--甲府都市圏の国道20号線沿線を対象として：加賀美大雅，吉川徹，讃岐亮：日本建築学会大会学術講演梗概集，F-1分冊，pp.1015-1016, 2012.9</li> <li>7) 利用者構造の変遷に着目した公共施設の出現と統廃合の分析--多摩ニュータウンの小中学校を例として：上原洋八，吉川徹，讃岐亮：日本建築学会大会学術講演梗概集，F-1分冊，pp.1017-1018, 2012.9</li> <li>8) 年齢階層別の施設利用頻度に着目した施設・住居最適配置の時系列変化分析：野口雄史・吉川徹：日本建築学会大会学術講演梗概集，F-1分冊，pp.1021-1022, 2012.9</li> <li>9) ガソリンスタンド撤退に伴うアクセシビリティの変化--岩手県を対象として：讃岐亮，吉川徹：日本建築学会大会学術講演梗概集，F-1分冊，pp.1023-1024, 2012.9</li> <li>10) 武蔵小杉駅周辺の土地利用の変遷に関する研究--形成の起源に着目して：福島紘子，讃岐亮，市川憲良，上野淳，吉川徹：日本建築学会大会学術講演梗概集，F-1分冊，pp.1045-1046, 2012.9</li> <li>11) 大都市周縁のショッピングセンターにおける店舗と駐車場の配置分析--京王相模原線沿線を例にして：藤井和哉，讃岐亮，市川憲良，上野淳，吉川徹：日本建築学会大会学術講演梗概集，F-1分冊，pp.1113-1114, 2012.9</li> </ol>
---------	--

<p>論文・口頭発表</p>	<p>12) 自動車利用時のアクセスに着目した中心市街地商店街と郊外大規模商業施設の比較分析--山形県酒田市を事例として：成本裕貴，讚岐亮，吉川徹：日本建築学会大会学術講演梗概集，F-1 分冊，pp.1147-1148，2012.</p> <p>13) 外出行動と活動への主観的認識で分類した高齢者の QOL の特徴。石橋裕，山田孝，橋本美芽，小林法一。第 71 回に本公衆衛生学会総会.山口,2012.</p> <p>14) 閉じこもり高齢者の「生きる目的」に関する研究- 荒川区における作業に関する自己評価改訂第 2 版を用いた大規模調査から。石橋裕，山田孝，橋本美芽，小林法一，長野博一。第 46 回日本作業療法学会.宮崎,2012.</p> <p>15) 高齢者の外出頻度維持を目的とした住宅の環境因子に関する研究—対象者居住階と外出頻度の関連について—：橋本美芽：建築学会：2012</p> <p>16) 都市部高齢者の外出頻度と住環境の関連に関する考察：橋本美芽、石橋裕、長野博一：日本福祉のまちづくり学会：2012</p> <p>17) 都市部高齢者の外出行動特性とまちづくりニーズ：橋本美芽、石橋裕、長野博一：日本福祉のまちづくり学会：2012</p> <p>18) 心のバリアフリーを題材とした住民参加型まちづくりに関する研究～荒川区バリアフリー基本構想策定プロセスから～：長野博一、藤井敬宏、橋本美芽、別府知哉：福祉のまちづくり学会：2012</p> <p>19) 都市部在住高齢者の外出目的と外出場所にみられる特性：橋本美芽，石橋裕，長野博一：日本保健科学学会：2012.10</p>
<p>刊行物</p>	<p>・多摩ニュータウン物語～オールドタウンと呼ばせない：上野淳，松本真澄：鹿島出版会，2012</p>
<p>講習会等 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)</p>	<p>1. フランスにおけるサステイナブル建築都市研究推進戦略について (Strategy for Promoting Research on Sustainable Architecture and Urbanism in France) : Mr. Panos Mantziaras : 2012.4.13</p> <p>2. 本リーディングプロジェクトの紹介及びフランスにおける郊外市街地の計画に関する紹介、意見交換会@首都大学東京南大沢キャンパス：2012.9.27</p> <p>3. 「持続可能な都市環境学のための国際シンポジウム 2012」首都大学東京リーディングプロジェクト国際シンポジウム@首都大学東京南大沢キャンパス国際交流会館：2012.11.3</p> <p>4. 首都大学東京リーディングプロジェクト LP3 研究発表会@首都大学東京南大沢キャンパス：2012.2.14</p> <p>5. まちせん「近隣大学の学生による地域研究発表会」：多摩ニュータウン都営諏訪団地の居住実態と住環境評価に関する調査：津田祥子，多摩ニュータウンにおける入浴施設の利用実態に関する研究：三上奈穂：2013.3.24</p> <p>6. 日本建築学会パネルディスカッション「縮退のパブリックデザイン」：饗庭伸：郊外都市の実践的再生手法</p>
<p>その他</p>	<p>上野淳：八王子市都市計画マスタープラン検討委員会委員長 吉川徹：多摩ニュータウン学会会長、八王子市都市計画マスタープラン検討委員会副委員長 橋本美芽：東京都荒川区バリアフリー基本構想策定協議会：副協議会長、及び、住民部会：部会長</p>

[2012年度 卒業論文・修士論文・博士論文]

**卒業論文**

- ・多摩ニュータウン都営諏訪団地の居住実態と住環境評価に関する調査：津田祥子
- ・推奨散策ルートと地域資源との空間的関連分析：高須賀公子
- ・再開発区域の既成市街地に対する連続性の分析：相吉こづえ

**修士論文**

- ・再開発による超高層集合住宅の徒歩圏における生活利便性：福島紘子
- ・来訪手段に着目した大都市周縁の市街地における大型商業施設の空間構成分析：藤井和哉
- ・多摩ニュータウンにおける入浴施設の利用実態に関する研究：三上奈穂
- ・住宅市街地の聴覚的及び嗅覚的景観--都市空間構成要素との関係に着目して：松井紀莉子
- ・都市部における単身高齢者の住環境と生活様態に関する研究：高松玲
- ・自動車異動を想定した居住地及び施設の立地優位性の日変動：川村洋介
- ・商業施設利用時の移動時間最小化を想定した商業地と居住地及び駐車場の最適配置：成本裕貴
- ・小規模店舗集積領域の時系列変化の要因分析--下北沢を対象として：松川優
- ・移動と施設利用の負荷に着目した住宅の機能を代替する施設と住宅の立地分析：鈴木達也

**博士論文**

- ・多摩ニュータウンの高齢者支援スペースと利用者の地域生活様態に関する研究：余錦芳